

単施設研究用

「研究課題名：Sherlock 3CG®（末梢挿入中心静脈カテーテル）挿入中のマグネットナビゲーションに対する補助人工心臓による干渉作用」に関する情報公開

1. 研究の対象

2016年3月1日～2020年12月31日に当院の外科系集中治療室（Surgical ICU）で“Sherlock 3CG®（末梢挿入中心静脈カテーテル）”を留置した方

2. 研究目的・方法・研究期間

末梢留置型中心静脈カテーテル（PICC）留置は腕などの体の中心から遠い血管（静脈）からより体の中枢に近い部位（主に上大静脈～右心房）まで数十cmのカテーテルを留置するものです。これにより、体を維持するための栄養剤や作用の強い薬剤をより安全に投与することが可能となります。Sherlock 3CG®は近年発売されたPICCのひとつで、マグネットナビゲーションというガイドワイヤの磁場を用いた方法によってカテーテル先端を適切な位置に誘導できる装置です。PICCはX線透視装置下に留置されるのが一般的ですが、この製品によってX線に被爆することなく非透視下に安全なPICC留置が可能となりました。マグネットナビゲーションは1.5m以内に磁界発生源があると干渉を受ける可能性があることが報告されていますが、いまだ未知の部分もあります。

我々は、Sherlock 3CG®留置と補助人工心臓（手術で心臓に特殊な器械を取り付け、心臓の機能を助ける装置）との関係性に注目して、電子記録およびPICC留置記録からデータを集めることでマグネットナビゲーション動作不良との関連性を検討します。

本研究の研究期間は、倫理委員会の実施承認日～2022年12月31日までとします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、身長・体重、現病歴、既往歴、手術歴、ペースメーカー留置歴
カテーテル留置部位、マグネットナビゲーションおよび心電図法の動作状況と活用の有無、PICC留置位置（レントゲン写真）、留置時の心電図波形
補助人工心臓の種類および動作状況、

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65 電話：052-744-2340

担当者：名古屋大学医学部附属病院 麻酔科 藤井祐

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科 麻酔蘇生医学 西脇公俊